

# 日本科学未来館「科学コミュニケーション活動に関する調査」 調査結果概要

## I. 調査概要

### 調査の目的

日本科学未来館の今後の活動展開の検討に有用となる全国の地域科学館の基本データの取得を目的とする。特に、館外での活動展開、科学コミュニケーター養成（輩出）計画、及び新規事業検討の参考とするための項目を重点的に調査する。

### 調査対象

全国の科学展示館

### 調査方法

郵送配布・郵送回収（一部 FAX またはメールによる回答あり）

### 調査時期

2011年1月28日～2月28日

### 発送数・回収数

発送数 400件 回収数 281件（うち集計対象 253件）

## II. 調査結果

属性区分 予算規模（未記入及び0を除いた4分割）（円）

第1四分位	1	～	21,946,263
第2四分位	21,946,264	～	80,000,000
第3四分位	80,000,001	～	177,000,000
第4四分位	177,000,001	～	2,085,000,000

属性区分 年間入館者数（未記入及び0を除いた4分割）（人）

第1四分位	1	～	33,723
第2四分位	33,724	～	90,029
第3四分位	90,030	～	167,106
第4四分位	167,107	～	2,790,000

問 1. 科学技術に関する活動についての主なターゲット(n=250)

- ◆ 小学生程度が 94%、大人一般 69%、中高生程度 66%、

問 2. 今後強化したい対象(n=245)

- ◆ 小学生程度が 68%、中高生程度 61%、大人一般 58%

問 3. 科学技術に関する活動のうち、最も力を入れている科学技術の分野(n=249)

- ◆ 自然科学・基礎科学全般 61%、宇宙 50%、地球科学 30%

問 4. 今後強化したい科学技術の分野(n=226)

- ◆ 自然科学・基礎科学全般 44%、環境・エネルギー44%、宇宙 37%  
環境・エネルギーへの注目が高い

問 5. 科学コミュニケーションに関する活動について、最も力を入れて日常的に行っている取り組み(n=248)

- ◆ 実験教室・工作教室（館内） 61%、プラネタリウム・映像事業（館内） 47%、職員による実演・演示（館内） 41%

プラネタリウムを有する館(n=114)

- ◆ 実験教室・工作教室（館内） 62%、プラネタリウム・映像事業（館内） 91%、職員による実演・演示（館内） 40%

問 6. 今後強化したい取り組み(n=239)

- ◆ 実験教室・工作教室（館内） 44%、展示物の企画・制作 40%、職員による実演・演示（館内） 38%

プラネタリウムを有する館(n=114)

- ◆ 実験教室・工作教室（館内） 47%、展示物の企画・制作 32%、プラネタリウム・映像事業（館内） 61%、職員による実演・演示（館内） 35%

問 7-1. 他の科学館等関連施設との連携状況(n=250)

- ◆ 日常的な情報交換 54%、施設内イベントの共同企画・実施 33%、連携は特にな  
い 26%

問 7-2. 学校等の教育機関との連携状況(n=251)

- ◆ 職場体験学習 70%、来館時の学習プログラム等の提供 69%、講師派遣・出前事  
業 60%

問 7-3 . 大学・研究機関等との連携状況(n=250)

- ◆ 施設内イベントでの連携（監修、講師等） 59%、連携は特にない 27%

問 7-4 . 自治体、NPO 等との連携状況(n=246)

- ◆ 日常的な情報交換 42%、施設内イベントの共同企画・実施 37%、連携は特にな  
い 29%

問 7-5 . 新聞、ラジオ、Web 等のメディアとの連携状況(n=249)

- ◆ 日常的な情報交換・取材への協力 82%

連携をとっていない外部機関：他の科学館等関連施設、大学・研究機関等、自治体、  
NPO 等

問 8 . 今後連携を強化したい外部機関(n=238)

- ◆ 学校等の教育機関 78%、他の科学館等関連施設 60%、大学・研究機関等 57%

問 9 . 「企画・運営スタッフ」と「事務・管理系スタッフ」の人数

- ①企画・運営系スタッフ 平均 13.76 人
- ②事務・管理系スタッフ 平均 6.33 人

問 10 . 「企画・運営スタッフ」のうち「常勤」「非常勤・嘱託・アルバイト・派遣等」の人数

- ①常勤 平均 8.02 人
- ②非常勤・嘱託・アルバイト・派遣等 平均 7.84

問 11 . 「企画・運営系スタッフ」のうち、展示物の内容や関連する科学技術について来館者・  
利用者とコミュニケーション（解説、実演）するスタッフの人数

平均 8.79 人

問 12 . ボランティア（展示物の内容や関連する科学技術について来館者・利用者とコミュ  
ニケーションするボランティアに限る）の人数

平均 40.06 人

問 13 . スタッフへの研修を行っているか(n=248)

- ◆ 行っている 71%、行っていない 29%
- 予算規模や来館者の多い館のほうが研修を行っている

問 13-1. 施設内での研修の内容(n=158)

- ◆ 来場者とのコミュニケーション方法（解説等） 53%、実験や工作教室等の実験技術 37%、基礎的な科学技術に関する勉強会 34%
- 予算規模や来館者の多い館の方が「来場者とのコミュニケーション方法（解説等）」を重視している

問 13-2. 外部機関が実施する研修へ派遣した実績の有無(n=167)

- ◆ 施設が費用を負担して派遣した 83%、スタッフの費用負担で派遣した 14%、派遣したことはない 13%

問 14. 今後実施を検討するか(n=70)

- ◆ 検討したい 69%、検討しない 31%

問 15. スタッフの採用を検討する場合に、求められる素養

- ◆ 求められる素養(n=240) :  
自然科学など、施設で扱う科学技術に関する知識 74%、ワークショップや工作教室等の館内イベントの運営ノウハウ 61%、学芸員資格・教員免許 38%
- ◆ 最も求められる素養(n=226) :  
自然科学など、施設で扱う科学技術に関する知識 42%

問 16. 常設展示場以外に巡回展示物が設置可能なスペースの有無(n=241)

- ◆ あり 66%、なし 34%

問 17. プラネタリウムの有無(n=252)

- ◆ あり 48%、なし 52%

問 18. 大型映像施設（プラネタリウムを含まない）の有無(n=248)

- ◆ あり 42%、なし 58%

問 19. 過去3年間の企画展示物（常設ではない）の実施実績の有無(n=249)

- ◆ あり 68%、なし 32%

※ 担当者の方へのコンタクト(n=253)

- ◆ 希望しない 12%(29館)